

株式会社三井住友銀行との間で連携協定を締結しました ～海外インフラビジネスと企業誘致の推進に取り組んでいきます！～

横浜市（市長 林 文子）は、株式会社三井住友銀行（頭取 國部 毅）との間で、それぞれの強みを生かし、地域の活性化を目指していくことを目的として、国際事業に関する連携協定を締結しました。

三井住友銀行は、グローバルなビジネス環境の変化、日本政府の成長戦略を踏まえ、インフラ分野を始めとする成長産業分野への取組を積極的に進めています。また、外資系・多国籍企業を集約したセクションを設け、対日投資の各種支援を展開しています。

横浜市は、Y-PORT事業を通じて、市内企業の海外インフラビジネス展開と新興国の都市課題解決の支援を進めるとともに、外資系企業誘致に力を入れています。

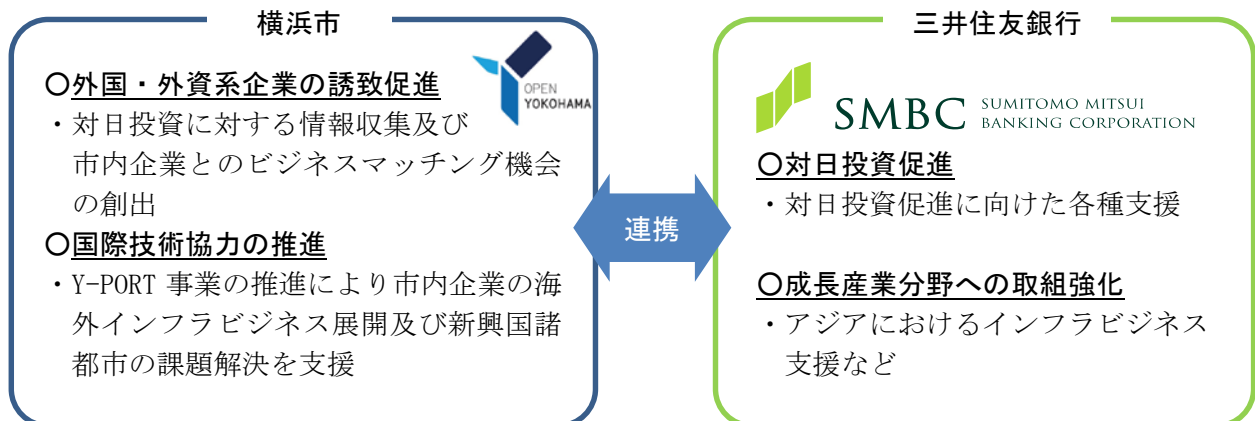
本協定では、相互の強みを生かし、海外インフラビジネス展開における連携を進めるとともに、外国・外資系企業の誘致促進に関する取組を進めることとしています。

（１）経緯

三井住友銀行から、海外インフラビジネス展開において、「横浜の資源・技術を活用した公民連携による国際技術協力」（Y-PORT事業）との連携のご提案をいただき、具体的な連携事項について検討を進めてきた結果、協定の締結に至りました。

（２）連携事項

- ア 外国・外資系企業の誘致促進に資する事案に関すること
- イ 新興国等の都市課題解決の支援と企業の海外展開支援を目的として横浜市が推進する「横浜の資源・技術を活用した公民連携による国際技術協力」（Y-PORT事業）に資する事案に関すること
- ウ その他、国際協力や市内の産業振興に資する国際関連事業



お問合せ先

国際局国際協力課国際技術協力担当課長 宮島 弘樹 Tel 671-4706 (Y-PORT事業に関する連携)
経済局誘致推進課国際ビジネス支援担当課長 小林 野武夫 Tel 671-2576 (企業誘致、海外展開支援に関する連携)